

中部横断自動車道 リレーシンポジウム

第1回 産業・物流

「つながる山梨

海と空に開かれた「開の国」へ」

情報提供 「中部横断自動車道の開通効果」

山梨県県土整備部

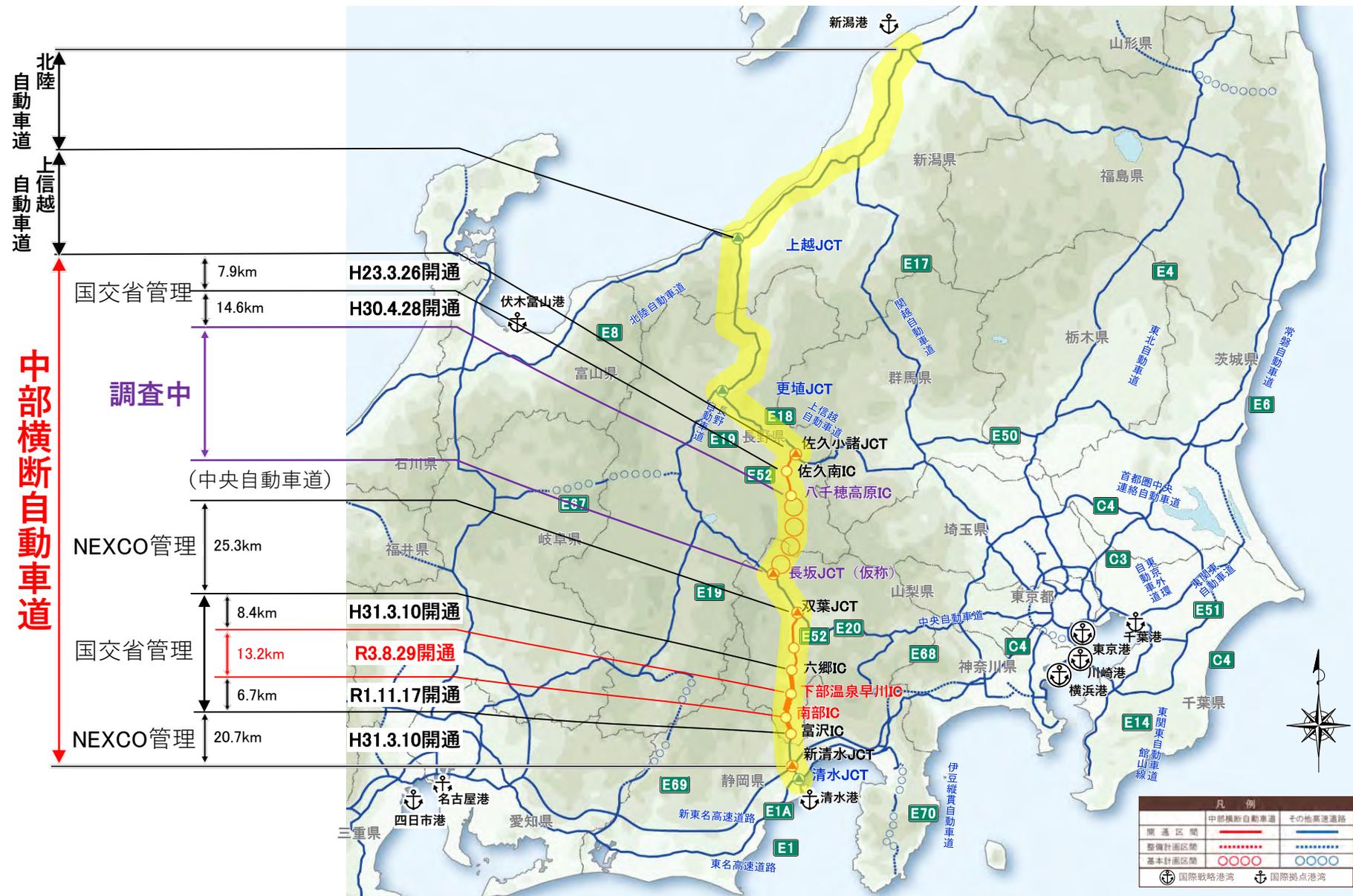


山梨県

中部横断自動車道の概要



山梨県



中部横断自動車道(静岡～山梨～長野) 未来の姿

- 将来、中部横断自動車道の完成により、
上信越自動車道を介して太平洋と日本海を結ぶ、高速道路の南北軸が形成
- 山梨県は海と空へ通じるクロスポイントとなり、甲斐の国から「開の国」へ進化



中部横断自動車道の開通効果 <沿線への新たな企業立地>

○中部横断自動車道沿線では、幹線道路への良好なアクセス性から、新たな企業立地が進展・地域の雇用創出に貢献



①南アルプス市 化粧品工場



③中央市 物流センター (令和4年開設予定)



④中央市 国際物流センター (令和2年開設)



⑧静岡市 国際物流センター (令和2年開設)

	業種等	所在地	開設時期
①	化粧品工場	南アルプス市	
②	洗口液工場	南アルプス市	令和3年
③	物流センター	中央市	令和4年 予定
④	物流センター	中央市	令和2年
⑤	合板工場	身延町	令和元年
⑥	除菌水 生成工場	身延町	令和2年
⑦	物流センター	南部町	令和3年
⑧	国際物流センター	静岡市	令和2年

- 企業立地の促進に向けた取り組みを実施中（山梨県 成長産業推進課）
- 中京圏・関西圏からの更なる企業立地の進展、産業振興への貢献に期待

企業への手厚い支援制度

○産業集積促進助成金

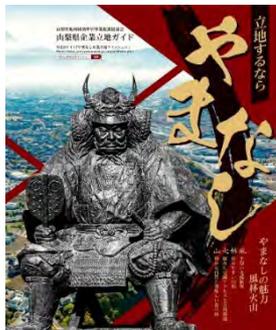
→投下固定資産額の2.5～15%など
最大15億円の助成金

○地域未来投資促進法支援制度

→成長性の高い分野の事業者を支援

○本社機能の移転等に対する優遇税制

→**課税免除**または本来税率の1/20



出典：山梨県企業立地ガイド
(成長産業推進課)

各種展示会等でアピール

○メッセナゴヤ2021 (R3.11.10～13)

→**中京圏**向けに山梨の
立地環境をアピール



○オンライン彩の国ビジネスアリーナ2021 (R4.1.25～2.14)

→PR動画で山梨県の交通状況や支援制度の紹介

○テクニカルショウヨコハマ2022 (R4.2.2～4)

→PR動画で中部横断自動車道など
恵まれた交通環境をアピール



「ものづくり」や「物流等」に関する基本計画の策定

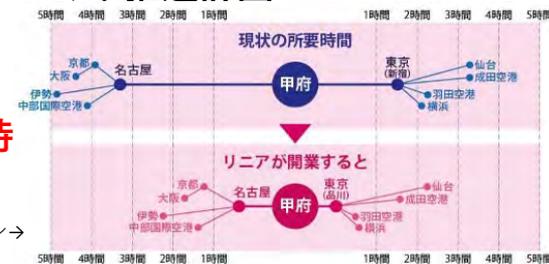
【ものづくり分野】

やまなし未来ものづくり推進計画

(H29.9.29同意)

リニア開業により
事業所誘致が期待

出典：リニアやまなしビジョン→



【物流関連分野】

やまなし未来物流等推進計画

(R1.9.27同意)

中部横断自動車道開通により
物流効率が上昇

促進区域（山梨県全域）→



→土地利用調整に関する**特例措置**を受けることができる
重点促進区域の拡大（促進地域は山梨県全域）

→不動産取得税、固定資産税の**減免措置の創設**

→**ICTの利活用の推進**と情報通信関連産業の振興、**情報発信の充実**、

事業者からの事業環境整備の提案への対応、
企業立地・産業高度化を実現する総合的体制の整備

- 静岡県と農畜水産物を協同で販売促進する取り組み「バイ・ふじのくに」を開始
- 清水港からの農産物・食品の輸出促進に向けた官民連絡会議を設置
- 清水港では輸出促進に向けた“リーファーコンテナ電源供給設備”を増設

バイ・ふじのくに

■山梨県と静岡県の連携



「バイ・ふじのくに」とは…

富士の国やまなし、ふじのくに静岡の旬の農畜水産物を互いに購入しあって相互に助け合うとともに、ふじのくにの産品を協同で販売促進し、ともに「ふじのくに」をさらに元気にする取り組みです。



←道の駅富士川で11月に開催した「つながる市」の広報チラシ

両県の物産品販売フェアの様子



清水港からの農産物等の輸出促進に向けた取組

■生産者、港湾関連事業者、行政機関等が参画する連絡会議を設置

農産物等の輸出促進の取組がスタート (R3.8)

(取組イメージ)

- ①生産者、卸売事業者、物流・港湾事業者が連携した計画を策定
- ②**高機能コンテナやRORO船を活用**した実証事業の実施
- ③民間事業者による温度・衛生管理が可能な荷さばき施設の整備
- ④関連する予算の重点化

出典：国土交通省
記者発表資料

清水港における港湾施設整備の状況

■リーファーコンテナ*用の電源供給設備を増設(H30.8)



* 内部を一定温度に保つ設備を持つコンテナ。冷凍・冷蔵の必要がある食品や医薬品などの輸送に利用。

- 両県の強みを活かした水素・燃料電池分野での連携
- 中部横断自動車道開通により、物流の効率が飛躍的に向上

静岡県との連携(水素・燃料電池分野)

【山梨】

○水素・燃料電池の研究機関が集積

○本県のP2Gシステム

電力(太陽光) + 水 = グリーン水素を製造

⇒ 脱炭素社会の実現に向けたエネルギー転換



山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター



HySUT水素技術センター



米倉山電力貯蔵技術研究サイト



米倉山太陽光発電所

- 静岡県と水素・燃料電池分野での連携を合意
 - 浜松市と「幸福循環地域連携に関する共同宣言」を発表
- 水素関連技術等、互いの強みを活かした連携

**産業
連携**

【静岡】

- ・清水港における次世代エネルギー供給拠点整備を推進
- ・静岡県西部を中心に自動車や二輪車、楽器等の世界的なメーカーが立地



UCC 笛吹に新工場

県など製造の水素で焙煎

引用元 R4.3.3 山梨日日新聞

祝 E52 中部横断自動車道 山梨～静岡間 全線開通

令和3年8月29日開通

浜松市と再生エネで連携 県、産業振興へ共同宣言

引用元 R3.12.18 山梨日日新聞

- 須走道路・御殿場バイパス開通により、医療機器分野の連携が強化
- 医療機器関連産業の集積によりメディカル・デバイス・コリドー構想を進展

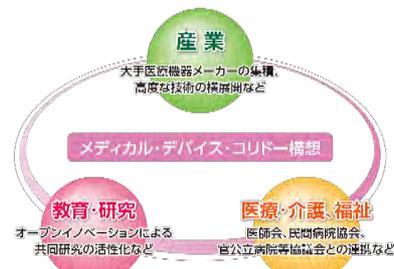
静岡県との連携(医療分野)

【山梨】 機械電子産業の高い技術力

○メディカル・デバイス・コリドー構想

山梨県の機械電子産業の高い技術力を医療機器関連産業へ横展開

- ・メディカル・デバイス・コリドー推進センター
- ・光学デバイス製造工場
- ・アルミ微細加工メーカー
- ・精密部品加工工場
- ・電子部品生産工場



産業連携

- 「医療健康産業政策の連携協定」を締結
- 「ふじのくに先端医療総合特区」
- 革新的医療機器の共同開発
- 産業クラスターの形成

【静岡】 医療機器生産額11年連続日本一

○ファルマバレープロジェクト ~世界一の健康長寿県の形成~

静岡県東部に医療機関・研究機関、企業が集積

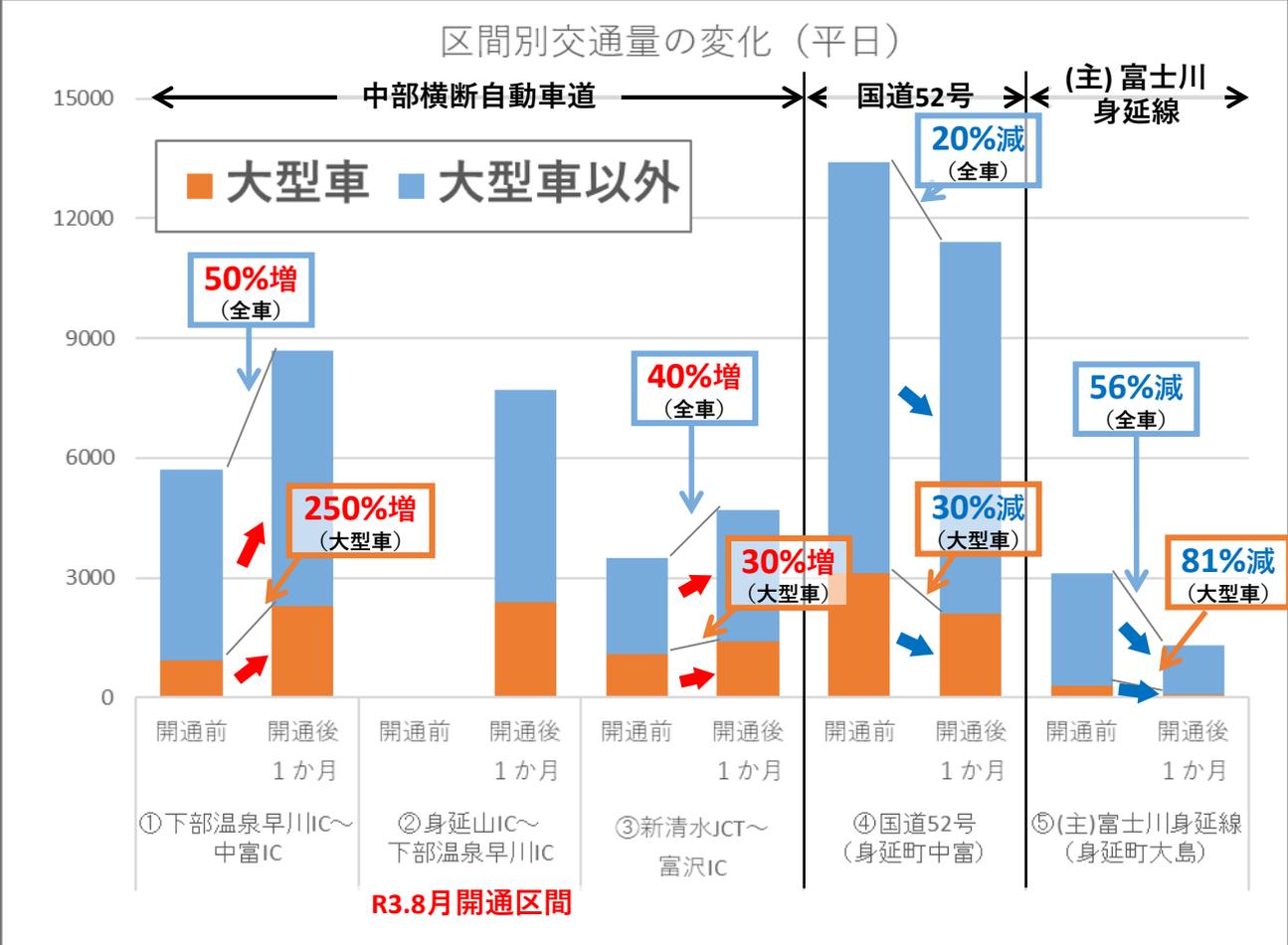
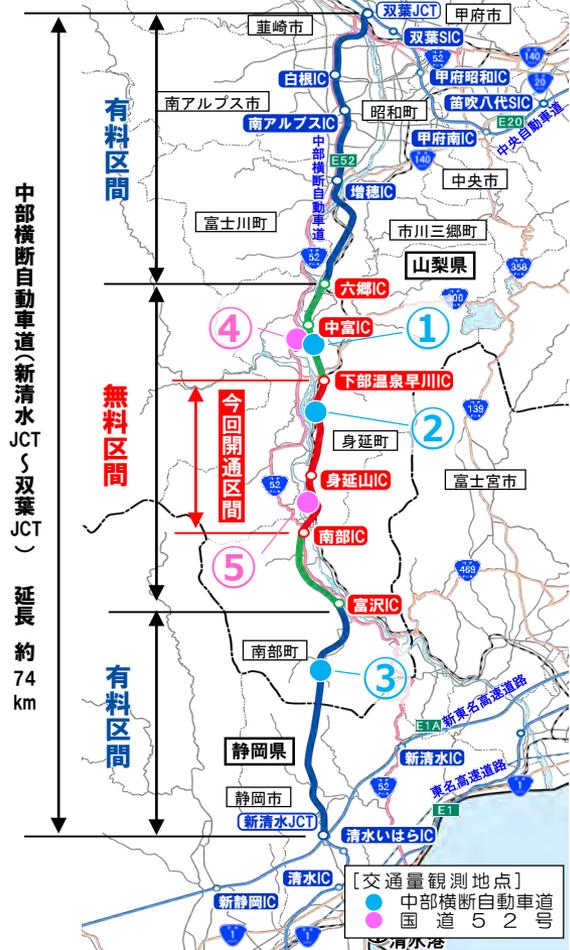
- ・ファルマバレーセンター
- ・静岡がんセンター
- ・長泉工業団地
(テルモ (株)、サンスター (株) など)



中部横断自動車道(山梨～静岡) 全線開通後の交通状況

○下部温泉早川IC～中富ICの交通量は約5割増加（うち大型車は約2.5倍に増加）

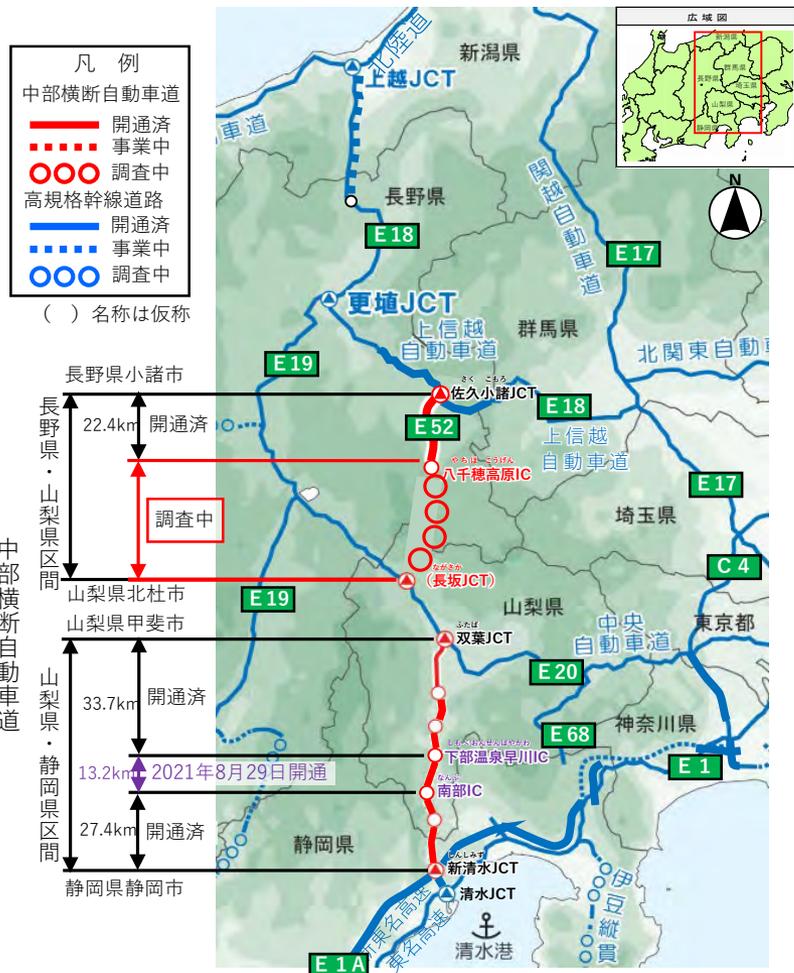
○並行する国道52号の交通量は約2割減少（うち大型車は約3割減少） ※開通後1か月
一般道から中部横断自動車道への転換が図られている



出典：国土交通省、中日本高速道路株式会社トラフィックカウンターデータ（速報値） ※計測値から有効数字2桁（1万台以上は3桁）で丸めた値
 ①～④【開通前】 平日：R3.7.12(月)～16(金) 0:00～24:00 【開通後1か月】 平日：R3.9.13(月)～17(金) 0:00～24:00
 ⑤【開通前】 平日：R3.7.15(木) 7:00～19:00 【開通後1か月】 平日：R3.9.16(木) 7:00～19:00

○ミッシングリンクとなっている中部横断自動車道(長坂～八千穂間)は、早期事業化に向けた沿線地域の期待が高まっている

【概要】



【沿線地域の活動など】



・早期整備を求める要望書の提出
3市長より (R3.8)



・地元主催で早期整備を求める会を開催 (R1.6)



・早期整備を求める要望書の提出
沿線3地区より (R3.8)



R3.3議会早期実現を求める意見書(北杜市議会)

・ルート日本海-太平洋
シンポジウム
来場者263名により
盛大に開催 (R3.11)



・山梨、長野の沿線10市町村により
早期事業化を求める懇話会を設立 (R4.1)

